

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [横浜市立東市ヶ尾小学校] 担当教諭名 [佐藤 万里子] (4年2組 31名)
 交流相手国 [ルワンダ]
 海外学校名 [Butare Center for the Deaf] 担当教諭名 [村田千津(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合(国際理解)	Smile Japan プロジェクト	20
	社会	わたしたちの神奈川県	12
	社会	地図の見方を覚えよう	3

■作品について教えてください。

題(テーマ)	つながっているね わたしたちの思い
絵に込めたメッセージ	遠く海を隔てたアフリカのルワンダと日本。その国の個性はもちろんあるものの、似ている点もたくさんある。目に見える物:周りの景色、建物、食べ物などは違っても、子どもたちが元気で遊ぶ様子や人に対する温かな心は変わらない。アートマイルの絵を通して、2つの国の子どもたちが共に手を取り合い、そこから新たな何かが誕生する!!



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
「ルワンダ」という未知の国について、知ることができ、関心をもつことができたことが最大の収穫である。将来訪れてみたい国の一つとしてあげた子どももいた。自分たちの作品が海を渡り戻ってきたこと、絵を全校に見てもらえたことなどから達成感や満足感を得ることができた。総合の発表会では全校と保護者に向けて誇らしげに発表することができた。	いろいろな活動を計画していたので、アートマイルの活動が11月からになって、少し慌ててしまった。もう少しスタートを早めた方がよかった。・教室のパソコンの環境をもっと整えられるとよかった。(しかし横浜市の限界だったかもしれない。)

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
総合の発表会でルワンダのブースを作り、これまでの活動について報告し、絵の宣伝を子どもたちが行った。また担任は、地域・保護者へお知らせをし、校長も学校だよりでつたえてくれた。	活動の様子を知った方々は、一同に「すご〜い」「すばらしい」とほめてくれた。保護者は、保護者会の後職員室前に展示している絵を見てくれた。こんな貴重な体験ができて、このクラスの子は幸せだとの声もあり、ありがたかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	11/1	JAM のホームページを見て、過去の作品を関し、自分たちの作品へのイメージをもった。	これから自分たちがこんなすてきな活動を進めていくのかとの期待する声ももれていた。	総合
情報収集	11/2 ～ 12/5	事前に行っていた日本を調べる活動～駅弁や祭り、特産品などテーマごとに調べ活動をして報告会を実施していた～をまとめることに決めた。	その前に神奈川県を調べ、大きな壁新聞にまとめていた。その次の活動だったので、子どもたちはまとめ方を「報告会」と決めてから、意欲的に調べ活動を進めていた。	総合
テーマ検討	11/9	「アートマイルデザインコンテスト」と称し、構図のコンテストを実施した。エントリーした構図を見ながら皆で話し合い、クラス目標にも関連するような構図に決定した。	数日前にアートマイルの過去の作品を見せてイメージをもたせていたおかげで、何人もの子が一人何枚もデザインコンテストにエントリーした。話し合い活動でも、クラス目標に合っているなどのうれしい賛成理由を積み重ね、円満に構図を決定することができた。	学活
制作	11/12 ～ 12/25	構図コンテストで採用された子を中心に下書きを始めた。視聴覚室にキャンバスを広げておき、休み時間や給食の待ち時間などを活用して色づけを行った。必ず全員が色づけに参加するようにした。	女子を中心にしながら、なれないアクリル絵の具を用いていねいに色づけをしてくれていた。その様子は写真にし、ルワンダへもお知らせすることができた。男子に女子が塗り方を教える姿など、見ていて微笑ましかった。	※特に教科では計上していない。
鑑賞	3/6 ～ 3/22	地域の方が来校するのに合わせて展示を始めた。職員室前に、解説と合わせて展示し、皆に見てもらった。	「えっ、何これ？」と皆が立ち止まって作品を見てくれている。地域の方も喜んでくださり、クラスの活動が学校全体、地域全体へと伝えられたことに、子どもたちはとても満足していた。	※理科の学習が終わった後、皆で鑑賞した。

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	以前に調べたことを思い出したり、絵を描いていく過程において「～だったよね」などの言葉がたくさん聞かれた。
異文化の理解	2	⑤・4・3・2・1	振り返りの文章を読むと、知らなかったルワンダについての関心の高まりをたくさんの子から感じた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)		5・4・③・2・1	あまりその機会をつくることができなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	⑤・4・3・2・1	活動が大好きで、とても意欲的だった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)		5・④・3・2・1	フォーラムやメールなど、教室にあるパソコンで見られたらよかったができず、職員室でプリントアウトしたのを見せながら活動を進めなければならなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	3	5・④・3・2・1	みなが積極的に活動していた。
学習を追究する意欲	4	5・④・3・2・1	目を輝かせて活動を進めていた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・④・3・2・1	数人の代表者が行った。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	視点等を与えずに、ただただ感動しながら見ていただけだった。